

もう師走とは…！ 年々1年経つのが早く感じられます。今年は暖かい日が多いせいか、もうすぐクリスマスというのが何となくピンときませんが、診察室の壁はクリスマス仕様でいっぱい。



皆さま、楽しいクリスマスと良いお年を！

## 将来、アレルギーの子は減る??

今や喘息・花粉症・食物アレルギー・アトピーといったアレルギー疾患は日本人の3人に1人がかかっているといわれていますが、先日、新聞で画期的な研究成果が紹介されていました。

アレルギー反応は、花粉やハウスダスト、食べ物など本来無害なはずの物質が体内に入り、IgE抗体に結合することにより、かゆみやくしゃみ、じんましんなどの症状を引き起こされます。国立成育医療研究センターの研究者達は、IgEが体内に増える前、胎児や新生児期のみに出現しIgEを生産する特殊な免疫細胞（mIgE陽性B細胞）に着目し、その表面に人工的に作った抗IgE抗体を反応させるとmIgE陽性B細胞が自殺する特性を利用して除去することによって、将来IgEを産生せず、アレルギーを起こさなくする可能性を示唆しました。

妊娠中のマウスに抗IgE抗体を注射すると胎盤を通じて胎児の体内に届き、生まれたマウスは長期間IgE抗体を作らなかつたとのことです。今は動物実験段階での話でヒトへの応用はまだまだ先だと思いますが、実現したら根本的なアレルギー疾患の発症予防になるかもしれませんね。

## 水痘(水ぼうそう)にご注意

2014年10月から1-2歳児に対して2回の水痘ワクチンが定期予防接種となり、全国の小児科定点報告医療機関からの集計で、水痘の患者さんは2000~2011年の平均患者数と比べて77%も減少したと報告されています。特に4歳以下では88%も減少しており、ワクチンで水痘罹患者が激減したことは確かですが、ここ1ヵ月位の間に水痘の患者さんが当院で10数名出ています。保育園や学校で少し流行している所があるようです。

ワクチンを打っていると典型的な水疱形成がなく、虫刺されのような発疹が何個か出る程度の軽い症状のことが多いですが、たまに結構出ている子もいます。周囲で流行っている時は、登園登校前にあやしい発疹がないか見るようにし、水痘と診断された場合は全ての発疹が痂皮(かさぶた)になるまでお休みしてください。

「ワクチンを打てば水ぼうそうにかからない」とまではいえませんが、実際にかかるお子さんはかなり減りましたし、かかっても軽症で済むことが多い

ですから、しっかり2回接種しましょう。1回しかワクチンをしていない子も、これまでかかったことがなければ2回目の接種が可能です(3歳以上は自費)。

## 乳児健診で

乳児健診では身長・体重などの身体発育、お座りや伝い歩きなどの運動発達は正常か、言葉や社会的な発達の遅れはないかなどを主にみています。

当院ではさらに、生まれつきの腎臓の奇形がないかをみる超音波検査、将来弱視につながるような屈折異常や斜視がないかをみるスポットビジョンスクリーナーによる検査を追加して行っています。異常が見つかることは多くありませんが、これらの異常は早期発見により予後が改善する可能性がありますので、是非ご利用ください。

## 感染症流行状況

今年はRSウイルス感染が少なかったようで、何よりでした。咳が強いお子さんの中にはマイコプラズマや百日咳の場合もあり要注意！前述のように、水痘のお子さんが最近目立ちます。

守谷市内ではまだインフルエンザは流行していませんが、牛久や取手では早くも学級閉鎖になった学校があります。ご注意ください。

感染症	人数(人)
溶連菌	20
アデノウイルス	2
RSウイルス	3
ロタウイルス	0
マイコプラズマ	17
インフルエンザA	0
インフルエンザB	0

(2018. 10. 29~11. 24)

## 今月の一冊

### 「ペンギンホテル」

作・牛窪良太

動物たちが泊まりに来る海の上のペンギンホテル。海からのアクセスは抜群、すべてのお部屋はオーシャンビュー。オーロラを見たいライオン、家族で楽しむシロクマ、人と待ち合わせをしているキツネ…最後に来たのは○○○さん!!ペンギンさんのおもてなしがかわいらしく、素敵なホテルです。(T.K.)



## 今月の予定

12月2日(日) 午前 JA とりで総合医療センター  
救急外来担当

13日(木) 守谷市3歳5ヵ月児健診

29日(土)~1月3日(木) 年末年始休診